

山口県医師会報

平成30年(2018年)

8月号

— No.1896 —

夏季特集号



緑陰隨筆

● 表紙の写真に寄せて

岩国市 玉田 隆一郎

表紙



2018年6月12日のフィラデルフィア美術館の正面です。30万点以上の作品を収蔵する全米屈指の規模を誇る美術館で、セザンヌの「大水浴」やゴッホの「ひまわり」を目の前に見ることができます。フィラデルフィアはアメリカ合衆国の誕生の地と言われる都市であり、独立国立歴史公園には、独立記念館や自由の鐘が収められています。旧市街地はヨーロッパの趣があり散策を楽しめる街でもあります。絵画に興味ある人ならフィラデルフィア美術館とバーンズ財団美術館は必見です。

フィラデルフィア美術館のゴッホの「ひまわり」です。50cm離れたところまで接近でき、写真を撮ることができます。



裏表紙

フィラデルフィア旧市街地区にある石畳の小径です。エルフレス小径で、1830年代に建設されたアメリカ最古の住宅街です。居住者がいて普通の生活を続けています。



Contents

■表紙の写真に寄せて	岩国市 玉田隆一郎	628
アイスクリームの歌・・・あの女の子は今？	白藤雄五	630
西郷どん	篠原淳一	632
幕末の剣術	篠原淳一	634
第 33 回サロマ湖 100km ウルトラマラソン「100km の部」完走記 ～サブテンは逃したが、100km ウルトラの自己ベストは更新～	金沢 守	636
フォトギャラリー	玉田隆一郎	639
長州人 再考	しまふくろう	640
護郷隊～われわれは何を忘れたのか～	しまふくろう	643
マイ終活	森松光紀	646
あか（ん）ね（、）さす（ガニ）	塩見祐一	648
端（はし・さきっぽ） その 13	若林信生	650
46 年目のエチオピア	岩本 功	653
人材育成	中村和行	656
■特別寄稿「山口大学医学部附属病院再開発整備事業について」	杉野法広	658
■指導医に聴く「私が研修医だった頃」	<聴き手>岸本千種	660
■今月の視点「高齢者医療の自己負担と給付率の自動調整」	清水 暢	666
■山口県医師会 第 182 回定例代議員会		670
<傍聴印象記>	石田 健	684
■山口県医師会 平成 29 年度 事業報告		685
■平成 30 年度 山口県医師会表彰式		704
■平成 30 年度 郡市医師会看護学院（校） 担当理事・教務主任合同協議会	沖中芳彦	706
■都道府県医師会予防・健康づくり（公衆衛生）担当理事連絡協議会	藤本俊文	712
■第 148 回 山口県医師会生涯研修セミナー 	福田信二、清水良一、加藤智栄、小林元壯	715
■理事会報告（第 7 回、第 8 回）		728
■会員の声「『見えにくい』けど『できる』に！」	新川邦圭	734
■飄々「平成最後の夏」	津永長門	736
■お知らせ・ご案内		737
■日医 FAX ニュース		742
■編集後記	長谷川奈津江	748

アイスクリームの歌 ・・・あの女の子は今？

宇部市 白藤 雄五

私の 50 年来の愛唱歌に「アイスクリームの歌」というのがある。「アイスクリームの歌」といってもご存じない方も多だろう。50 年以上前、私が小学生だった頃、NHK ラジオの幼児向け番組で歌われていた歌である。昔は王子様や王女様でも食べられなかったアイスクリームが、今ではぼくでも食べられるよ、といった他愛もない内容の歌であるが、親しみやすいメロディー、わかりやすい歌詞で、僕はすっかり気に入ってしまって、よく口に出して歌ったりしたものだ。

けれども、同級生らでその歌を知っている者はなく、というのも、その当時勃興していたテレビにみんな夢中になっていて、ラジオの幼児番組を聴いている者などいなかったのである。

ぼくが当時、日常的にラジオを聴いていたわけは、父親が本屋をやっている、自分の店は「文化の一大拠点」である、などと自認していたらしく、テレビなどという低俗文化は断固排除する、という「ポリシー」のため、我が家にはテレビがなく、いつもラジオが BGMのごとく流されていたからである（単に家計が苦しくてテレビが買えなかったことの方だったのかもしれない）。

で、ある夏休みの夜、親戚の家に泊まりがけで遊びに行っていたときのことである。その家にはもちろんテレビがあって、夕食の団らんの時に点いていたテレビでは、ちびっ子のど自慢大会をやっていた。一般募集したちびっ子たちが歌を歌い、優勝者には賞品がもらえる、という番組だった。しかし、出演したちびっ子たちの歌は、ぼくが興味もなかった流行歌ばかりで、聞き流していた。で、ある女の子の順番になったとき、「アイスクリームの歌」と紹介された。へーっ、流行歌にもアイスクリームの歌、というのがあるのか、

とぼくは少し聞き耳を立てた。

始まった歌は、「おとぎ話の王子でも、昔はとても食べられない」あっ、これはぼくの大好きなアイスクリームの歌じゃないか、ぼくは一気にテレビに引き込まれた。

「ぼくは王子ではないけれど、アイスクリームを召し上がる」へー、この子もラジオを聴いているんだ。ぼくは、ぐっと親近感がわいた。

「スプーンですくってピチャッチャツ、舌に乗せるとトロントロン、のどを音楽隊が、通り、ます。」

うまい、上手だ、この子すごく歌がうまいぞ。「ブッカブーカドンドン冷たいね、ルッラルーラルーラ甘いね、チイタカタッタッタおいしいね」澄みきっていて心にしみわたるような歌声、ぼくはすっかり夢中になってしまって、この子優勝すればいいな、優勝してほしいな、きっと優勝するぞ、とヒートアップした。

すべてのちびっ子の歌が終わり、審査発表の段になった。果たして、その女の子が優勝した。やったやったー、とぼくは喝采した。

司会が「さあ、どの賞品を選びますか？」と言いながらいろんな賞品を紹介した。そしたらその子は、少し恥ずかしそうに小さい声で「テレビ」と答えた。司会がびっくりした。「テレビ」も確かに賞品の中にはあったが、その中でもっとも地味な代物で、歌番組に出てやろうというような飛んでる女の子が欲しがるといふようなものではなかったのである。「テレビでいいんですか？ほら、〇〇もありますよ、△△もありますよ」と他の賞品を促したが、今度はもったきっぱりと大きな声で、「テレビがいいです」と答えた。

ぼくはその瞬間に確信した。そうだ、この子の

家は貧しくてテレビが買えないんだ、だからラジオを聴いているんだ、この番組に出て優勝してテレビをもらおう、そう思ったんだ。

その子がテレビを選んだ本当の理由はわからない。けれども当時の私はすっかりそう確信したのである。

このできごとがあってから、アイスクリームの歌は、さらにぼくの心の奥深くに入り込んでいて、今でも口にこそ出さないが、心の中でよく歌っているのである。

あの女の子の顔など、全く憶えていない。恐らく今は 60 代半ば、孫の 2、3 人はいるおばあちゃんになっているだろう。消息がわかれば、このときの気持ちを伝えたいなあとと思っている。(今回の原稿を書くに当たってインターネットで検索したら、「アイスクリームの歌」は作詞：さとうよしみ、作曲：服部公一で、けっこうポピュラーな歌のようだった。)



西郷どん

徳山 篠原 淳一

現在、NHKで「西郷どん」という大河ドラマが放映されています。

鹿児島県では現在も島津氏とならんで西郷どんは圧倒的な人気があります。

江戸生まれで聡明な島津斉彬公との出会いは西郷どんにとって、まさに運命的な出会いでした。

当時の彼は下から二番目の下級武士で殿様と直に話せる身分でなかったため、斉彬公は一計を案じて「御庭番」という秘書役を彼に与えました。庭掃除しながら絶えず斉彬公と会話ができる立ち位置が彼に与えられたのです。後に斉彬公は「薩摩に西郷吉之助と申す者がおります。まだ若輩者ですが、ゆくゆくは我が薩摩の大宝となる人物です」と人に紹介しています。まさに斉彬公の慧眼といえます。斉彬公は御庭番のころから世間話を交えて西郷に英才教育を授けたのです。その結果、彼は斉彬公を自分の恩師として終生慕うことになります。

斉彬公の死後、その腹違いの弟である久光公が遺言によって後継者となり、息子の忠義公を藩主としました。自分は国父となり薩摩藩の実権をすべて掌握することになります。どうも西郷どんと久光公との確執は宿命的だったようです。彼は久光公の政治行動を見て公の面前で「地五郎」（田舎者のこと）と何度も罵倒しました。斉彬公の洗練された行動と比べてそう表現したのでしょう。これに怒った久光公は何度も西郷どんを殺そうと考えたらしく、その悔しさにキセルに大きな歯型がついたほどでした。結局、久光公により奄美大島等に二度流されています。流刑先での座禅姿が現在も肖像画として残っています。

鹿児島城下では若手の武士団に圧倒的に支持され「ウド目（巨眼のこと）さあ」とか「武の翁」

といった愛称で慕われていました。当時、薩摩藩は全藩で戦国風の示現流を取得させていたため、その強さは伝説的なものとなっていました。

幕末の彼は薩摩武士団の指導者となっていました。

実際の西郷どんは政治家というより根っからの軍人だったようで当時「西郷の戦好き」とも評され、普段から「ものごとは戦の一字ですべてが決する」と言っていたようで戊辰戦争もこれで乗り切っています。

また、写真嫌いが有名で現在一枚も残っていません。明治陛下の写真の御所望も拒絶したいきさは有名な話です。一説には暗殺を避けるため自分の写真を残さなかったようで、その代わりに肖像画が20枚ほど現存しています。ごく最近も鹿児島県内のイト夫人の縁者の家で肖像画が一枚発見されました。本人の癖であった額にキセルを押し付けた跡が確認され、おそらく実像に近いと現在考えられています。

作家の司馬遼太郎によれば実際の西郷どんは「金も要らず出世も要らず」といった人物で、欲といえば「人望好き」だけといった、どこか途方もないところがあったようです。いろいろなエピソードを見て「これは本当だろうか」と首をかしげたくなりますが、司馬遼太郎はこういった西郷どんを「哲人」と評しています。また、「一度会ってみないと西郷という人物が実際に分からないのでは」とも表現しています。西郷どんの薩摩犬好きは有名ですが刺客に対するボディガード用だったようです。

どうもこういった雰囲気日本人の好みに合っていたようで、明治初期、上野にあの庶民的な西郷像が建立されましたがこれは彼の狩猟姿です。

像の除幕式の際にイト夫人が「自分の夫はこう
いった人じゃなかったのに・・・」と驚いたのは
有名な話です。

いつも羽織袴の重厚な正装で他者への礼を重ん
じたのが実際の西郷どんだったのです。幕末のイ
ギリスの外交官アーネスト・サトウも実際に会っ
た時の印象を「いつもは寡黙な人物だった。魅惑
的な笑顔で、何かしゃべる時はあの大きな青い瞳
に吸い込まれるような錯覚をおぼえた」と書き残
しています。

この国民的英雄も自分の教え子である私学校
の暴発に乗せられて西南戦争を始めてしまいまし
た。私学校生徒が政府の弾薬庫を襲った時、それ
を聞いた西郷どんは「シモタ（しまった）」と天
を仰いだそうです。

西南戦争が始まる時の出陣式で「わたしのから
だはすべてお前たちにあげましよう」と宣言し、

戦場に出発しました。

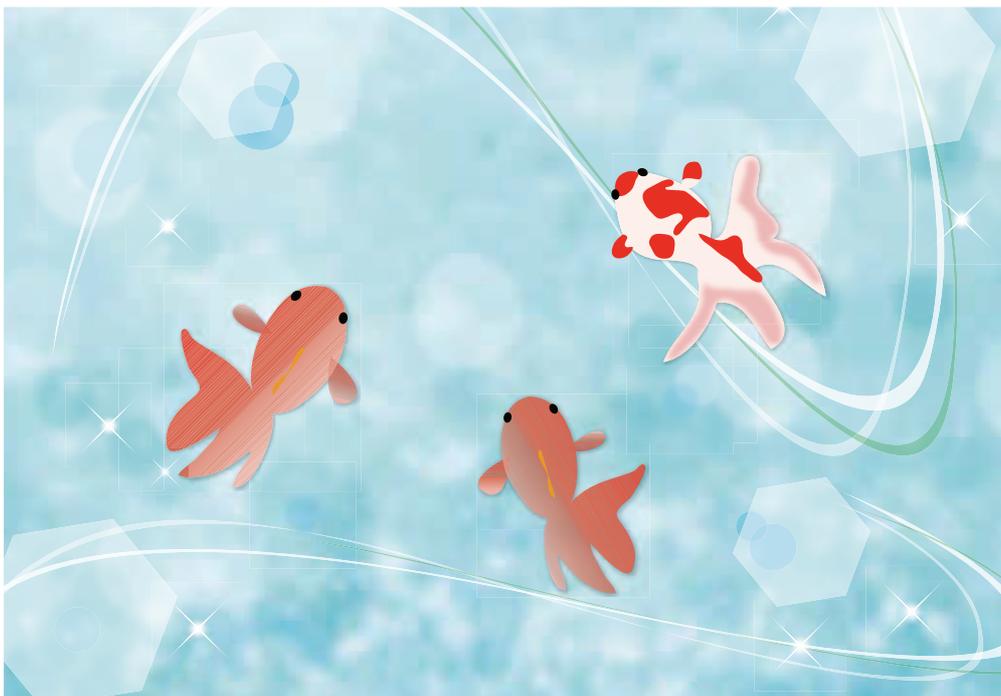
田原坂などいくつかの難戦のあと、薩摩兵は鹿
兒島に帰り城山にこもりました。

最後の出陣の際、西郷どんの下腹部と右大腿部
を銃弾が貫通しました。かれは「もうこちらで良
い」と愛弟子の別府晋介の介錯を従容と受け、そ
の劇的な人生を終えたのでした。

日本人の象徴のような西郷どんですが、その人
生はすべての薩摩人とすべての日本人との因縁め
いた人生だったように思えます。

参考文献

司馬遼太郎 著『翔ぶが如く』、『街道をゆく』
など。



幕末の剣術

徳山 篠原 淳一

幕末期の剣術で人口に膾炙されているのは薩摩示現流、新選組の天然理心流、江戸の北辰一刀流、鏡新明智流、神道無念流などがあります。

薩摩藩の示現流は主に鹿児島城下の上級士族が練習した戦国風の実戦剣法です。これは「二の太刀信ぜず」といわれ初太刀で相手を倒すのが特徴です。幕末新選組の近藤 勇が薩摩藩士による隊士の無残な死骸を実際に見て「薩摩者にあつたらかろうじて初太刀をはずせ」と忠告したのは有名な話です。新選組隊士に刀身ごと頭蓋に押し込まれた切り口があり、初太刀のすごさにさすがの近藤も戦慄したようです。

示現流は「御留流」とよばれ、薩摩藩以外の練習を禁止され門外不出でした。

当時、薬丸流を鍛錬した薩摩藩士を中心して明治維新を迎えたため「薬丸どんの明治維新」と呼ばれてました。

他に、言葉がまぎらわしいですが「野太刀自顕流」と呼ばれるものが存在します。これは示現流をもっと強烈にしたもので郷土階級（半農半士のこと）など身分の低い薩摩藩士が身に着けた剣術です。示現流より技数も少なく、一太刀一太刀が強烈です。

中村半次郎が代表的剣客です。郷土身分の中村半次郎は金がなかったため自宅庭に木立を多く植え毎日夜遅くまで「立木打ち」の練習を続け、技を自得したそうです。彼は天才的な技で雨だれが地面に落ちるまで 3 回抜刀できました。

示現流の一番の特徴は「二の太刀を信ぜず」の通り、初太刀ですべてを決めることです。

しかし、初太刀をはずしても実際は次への連続技があり洗練された面もあるようです。示現流には抜き、打ち回り、小太刀などの技があり一つ一つに強烈な威力があります。幕末の生麦事件の際、犠牲になった外国人に最初に斬りつけたのは奈良原喜左衛門という示現流の使い手です。

抜きで抜刀し飛び上がって馬上のリチャードソンに斬りつけました。

肩口から腰まで達する刀疵だったようです。

この事件が薩英戦争のきっかけになっています。

薩摩藩では「郷中教育^{ごじゅう}」といって各町内ごとに年長の子が「御先師」として年若の子を鍛錬する教育が伝統的にありました。足腰を鍛えるため皆で薩摩の山野を駆けまわるのです。西郷隆盛も大久保利通も同じ町内で兄弟のように育ったので、これも郷中教育の結果です。作家の司馬遼太郎は「明治維新は鹿児島城下の一つの町内会で全部やってしまった」と表現しています。

江戸期薩摩藩は人口の半分が士族といわれるほど武士の数が多かったのでこのような独特の教育法が生まれたのでしょう。

江戸の北辰一刀流などの剣術は、当時、初めて竹刀打を取り入れて剣術の理論的指導を行いました。竹刀打や組太刀で練習することで理論的に身に付く仕組みになっていたわけです。千葉周作は剣術の極意を「剣はそれ瞬息」と表現しました。

江戸の剣術道場は剣術以外に朱子学などの学者も多く出入りしており、武士としての教養や作法の指導も併せて指導していました。剣術道場が大掛かりな教育システムだったわけで、現在の早稲

田や慶応のような大学組織をイメージすると理解しやすいと思います。

最近、坂本龍馬の免許の実物が発見され、北辰一刀流の免許皆伝であったことが証明されています。示現流を実践剣法とすると、北辰一刀流は都会的に洗練された剣法といえます。北辰一刀流は

活人剣で示現流は殺人剣とも表現出来ます。

現代の剣道はこういった様々の流れから現在の形に完成されたものです。



第 33 回サロマ湖 100 kmウルトラマラソン

「100km の部」完走記

～サブテンは逃したが、100km ウルトラの自己ベストは更新

宇部市 金沢 守

去る 2018 年 6 月 24 日に私は北海道北見市、湧別町、佐呂間町の 3 市町が合同で開催した第 33 回サロマ湖 100km ウルトラマラソン「100km の部」に出場しました。昨年からの大会には出場し始めています。それまではサロマ湖は山口県からは余りにも遠いので、出場を前向きに検討する事が出来ませんでした。しかし、私の住む宇部市内にある山口宇部空港ではなく、お隣の福岡県にある北九州空港を利用すれば、何とか日曜日のうちに帰って来る事が可能であると分かったので、この大会に出場するようになりました。なお、この大会は非常に人気がありますので、エントリー受付が始まる日は、必ず開始時間の数分前から臨戦態勢に入らなければなりません。

昨年は残念ながら、わずかに 10km 地点で仕事上のやんごとなき事情が突然発生し、宇部に戻らなければならなくなったため、リタイアしています。午前 5 時にスタートしたレースがまだ 6 時になってないうちに終わっています。この出来事は非常に残念でしたが、サロマ湖ウルトラに関する様々な事を知る事は出来ました。私はこの原稿を書いている 6 月 26 日現在で 54 歳、今年の 11 月には 55 歳になります。サロマ湖ウルトラは記録を狙えるコースです。今年のスタート前の天気予報は「曇り時々雨」だったので、なかなかよいコンディションに恵まれそうだと期待していました。50 歳を過ぎてからフィジカルはかなり衰えており、55 歳以降は更に衰える事が予想されます。今回のサロマ、そして当選すれば 10 月の四万十川ウルトラがサブテン

(100kmウルトラマラソンを10時間以内に完走する事)へのラストチャンスかもしれないと思っていました。結果は狙っていたサブテンに僅かに届かず、10時間01分13秒でフィニッシュしました。10時間からみれば後1分13秒など本当に僅かなものだと思います。唯一の救いは2012年10月に四万十川ウルトラでマークした100kmウルトラの自己ベスト(10時間04分24秒)を3分程縮める事が出来た事です。これがなかったら泣くに泣けないところでした。

さて、サロマ湖ウルトラマラソンの公式 Facebook ページに、ウルトラマラソンの走り方やトレーニングに関するコラムが掲載されています。その中で最も参考になったのは、100km ウルトラの小エイドは 5 秒以内に出る、そして大抵はほぼ中間地点に設置されている大エイドは 60 秒以内に出るべしというものです。私は余りエイドに長居はしない方ですが、中間地点の大エイドでは 5 分ぐらいいはいると思います。ウェアを着替えたりはしませんが、まとまった量のエネルギー補給をしたいと思うからです。しかし、そのコラ



ムを書いたコーチに言わせると、体を長時間休める事は絶対によくありません。歩きながらでもいいから 1 分以内に大エイドを出て、前に進むべきだと書いてありました。日本陸連に登録している選手は中間地点以外にも 3 カ所でスペシャルドリンクを置く事が許可されていますが、タイムを少しでも短縮するために今回は中間地点のドロップバッグも取らない作戦を立てています。

レース前日である 23 日の私の旅程は以下のようになっています。

北九州 13:35 → 羽田 15:10
羽田 16:45 → 女満別 18:25

女満別空港からはレンタカーで網走市内のビジネスホテルに向かい、凡そ 40 分弱で到着しました。レース当日の朝はフィニッシュ地点から午前 3 時に出発し、スタート地点である湧別総合体育館まで向かう大会運営のバスに乗らなければなりません。約 1 時間掛かります。従って、当日は午前 1 時過ぎには起床し、2 時過ぎには網走から常呂町スポーツセンターに向かわなければなりません。午前 2 時半～3 時までの間に駐車場に集う人は相当いますので、かなり渋滞する事は昨年に経験済みでした。

尚、レース後の復路の旅程は以下のようになっています。

女満別 19:00 → 羽田 20:55
羽田 22:00 → 北九州 23:40

この旅程を可能なものにするためには、11 時間以内の完走が望ましいです。12 時間だと、着替えもそこそこにレンタカー会社に向かわなければならないと思います。

北九州空港から私の自宅までは 1 時間ほどかかりますので、家に戻るのは 25 日の月曜日になってしまいます。ウルトラマラソンを走るだけでも大変ですが、長距離の移動や尋常ではない早起きはもはや修行だと思っています。国内の大会なのに時差ボケを

憂慮しなければならない大会はサロマ湖ウルトラだけです。ただ、今年に限っては 25 日の 0 時からサッカー W 杯の日本対セネガル戦が行われています。どうせこの試合が終わるまでは寝る事は出来ないと思えば、精神的なダメージは少ないです。ただ、対セネガル戦も前半は車の TV で見る事になってしまうし、家に戻ればお風呂に入ったりするので、後半は集中して見られないかなという危惧は現実のものになっています。

レース当日に話は戻ります。90km まではサブテンペースで走っていました。おそらくラスト 10km に勝負はもつれ込むと考えていましたし、実際その通りになっていますが、最後に待ち受ける難関であるワッカで相当体力を消耗し、ラスト 10km に全てを注ぎ込むランニングが出来ませんでした。

なお、ワッカとはワッカ原生花園の略称です。北見市常呂町にある原生花園であり、2001 年 10 月に北海道遺産に指定されています。北海道

測定ポイント	スプリット	ラップ	通過時刻
Start	00:00:04		05:00:04
10km	00:51:16	0:51:12	05:51:16
20km	01:44:41	0:53:25	06:44:41
30km	02:38:33	0:53:52	07:38:33
40km	03:32:53	0:54:20	08:32:53
42.195km	03:44:48	0:11:55	08:44:48
50km	04:28:26	0:43:38	09:28:27
60km	05:27:16	0:58:50	10:27:17
70km	06:27:24	1:00:08	11:27:24
80km	07:30:43	1:03:19	12:30:44
90km	08:43:14	1:12:31	13:43:14
Finish	10:01:13	1:17:59	15:01:13

サロマ湖（網走国定公園内）のオホーツク海側の砂州にあり、ハマナス、エゾスカシユリ、ハマヒルガオ、ハマボウフウなど 300 種以上の草花を見る事が出来ます。砂州には大町桂月により龍宮街道と名付けられた道が整備されており、サロマ湖ワッカネイチャーセンターという施設でレンタサイクルを借り、サイクリングも楽しめます。このような解説を改めて書いていると凄くいいところだと感じますが、レース当日、ワッカでは冷たい雨風が多く多くの選手達を苦しめています。手袋を念のためにランニングパンツに忍ばせておいてよかったです。ワッカのコースはかなり走ったところに、斜度のきつい橋を登って、下ったところに折り返し点があります。コース自体の道幅も狭いので、相当に走りにくかったです。私は昨年 10km 地点でリタイアしたため、サロマ湖ウルトラのコースの全貌を当日初めて知りました。実際走ってみて、他のウルトラに比べたら大した事はないけれども、それなりのアップダウンがありました。又、ワッカに関しては、中々手強いという印象しか残っていません。ワッカを実際に走り、あの独特のコースに馴れるしかない気がします。ワッカの気象条件が厳しかった事に加え、前半かなり飛ばしたので、そのつけが後半に来たと感じています。スピードが落ちてでも最後まで気持ちを切らさなかった事が自己ベスト更新に繋がったと思っています。

レース後は女満別空港内のセブンイレブンで夕食を買い求めて食べています。ウルトラマラソン後の夕食としてはかなり侘しいものがありました。私以外にも女満別空港 19 時発の飛行機に

乗るサロマ湖ウルトラに出場したと思われる方はそこそこいました。サロマ湖は北海道に住んでいる人達にとっても決して近いとは言えない場所です。ましてや山口県からサロマ湖に出場する場合、あの『若者たち』の歌詞を思い出します。

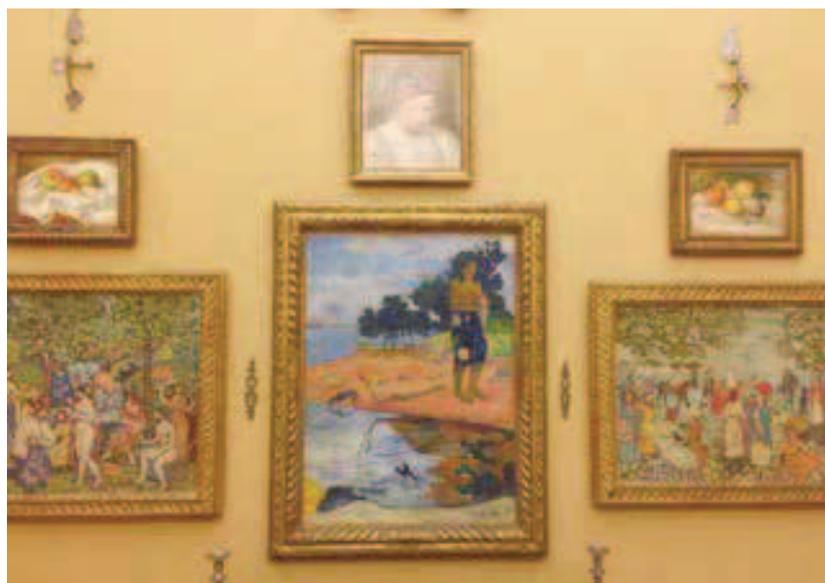
「君の行く道は果てしなく遠い。だのに、なぜ歯をくいしばり、君は行くのか、そんなにしてまで」

しかし、私はワッカにリベンジするために、きっと来年もサロマ湖ウルトラに出場すると思います。



フォトギャラリー

岩国市 玉田 隆一郎



バーンズ財団美術館の写真です。バーンズは新薬で富を得た富豪で 1922 年美術館をフィラデルフィア郊外に開設しました。容易に鑑賞出来ませんでした。2012 年中心部に移転したため、容易に鑑賞出来るようになりました。ルノアール、セザンヌ、マティス、ピカソ、ドガ、ゴッホ、マネ、モネなどなど素晴らしいものです。今回 36 年ぶりに鑑賞し、自分が撮影した写真の一部です。

長州人 再考

山口大学 しまふくろう

面白きこともなき世をおもしろく
すみなすものは心なりけり

今年が明治維新から 150 年の節目の年である。この記念すべき年に、再び「長州人」について考えてみたい。

先々秋暮、女房と下関市吉田にある東行庵に遊んだ。吉田は上方へ通ずる山陽道と、萩に連絡する路との分岐点にある旧宿場町で、ここに高杉晋作率いる奇兵隊が本拠地をおいた。

庵内の紅葉はピークを過ぎ、前日の雨でずいぶん散っていた。小径にも積もっている。血のように赤い。

初代奇兵隊総督の高杉晋作の墓に詣で、墓域の白石正一郎霊標や隊士の墓標に黙礼した。晋作は慶應 3 年 4 月 14 日未明、満 27 歳 8 ヶ月で亡くなり、ここに葬られた。肺結核だった。小倉口の戦いの和議が成立して、わずか 2 ヶ月あまり後のことである。

かれが組織した長州奇兵隊とはいかなる組織であったのか？

この問いは重要である。旧日本帝国陸軍組織の原型でもあるからである。

『長州藩明治維新史研究』によると、隊士の総数は 722 人

で、武士階級が約 49%、農民が 42%、町民や僧侶などがそれぞれ 5% 弱とある。ところがその武士の身分をみてみると、その約半数が陪臣である。陪臣は、又家来ともいわれ、上級武士が私的にかかえている家来で、又者などと蔑称されていた下級武士のことである。もちろん藩からの身分保障は得られない。実態は士分にとりたてられた農民とみるべきだろう。

農民も平百姓と村役人といわれる庄屋クラスに分かれ、7 割は平百姓であった。時勢を把握していたのは、もちろん文字の読み書きのできる知識層である庄屋の人々で、かれらの呼びかけに応じて平百姓の次男、三男が立ち上がった、というのが本当のところではなかったか。

農民の若者は、何を夢見てとびだしたのか？
重石のようにたれ込めている封建の世の、がん



青銅製の長州砲。下関戦争の戦利品としてフランスに渡ったが、里帰り。功山寺に隣接する下関市立歴史博物館内に常設展示。

じがらめの身分制度のもとでうまれ育ったかれらには、入隊して活躍すれば、ひょっとしたら士分にとりたててもらえるかもしれない、との夢があったからではないか、とぼくは思う。農家の次男であるぼくの推測である。

豪商の白石正一郎にも士分となることへの淡い期待があった。そのことがかれの文久3年7月5日の日記に記されている。ましてや平百姓の次男、三男だったら……。ただしこれは理由のひとつであって、すべてではない。やはり郷土防衛の本能が大きかった、とみるのが妥当と思われる。

文久3年（1863年）5月11日午前2時、アメリカ商船ペンブローク号への攘夷の第1弾発射から始まった黒船への砲撃は、6月1日からアメリカ軍艦の報復砲撃、6月5日からはフランス軍の反撃にあい、ついにフランス陸戦隊300人の前田への上陸をゆるしてみじめな敗北を喫した。



功山寺山門。高杉晋作が伊藤俊輔（博文）らを率いてここで挙兵。



イラスト：司馬さやか

その翌日の6月6日、藩主敬親に召された晋作は、有志党（のちの奇兵隊）の結成を上申し、許されている。この年末までに奇兵隊を含む諸隊の総人員数はゆうに1,000人を超えている。敗戦による危機感がよほど強かったのだろう。

その奇兵隊の訓練とは一体どのようなものだったのか？

「稽古規則」が残っている。それによると：

- ①午前5時から午前7時まで文学稽古。
- ②午前6時から午前9時まで剣術稽古。
- ③午前8時から正午まで槍術、銃陣、野戦砲射術稽古。
- ④午後2時から午後5時まで大砲稽古。
- ⑤午後6時から午後8時まで文学稽古。

その他、馬術、講釈、隔夜輪講、休日などが記されている。

日本古来の武術に加えて、急速な洋式化を凶っているのが目につく（馬関における惨敗で目が覚めたのだろう）が、おもしろいのは「文学稽古」や「講釈」、「輪講」が重視されていることである。ぼくは、他諸藩と異なり、なぜ長州人が「志高く」、「都会的であり」、なおかつ「豊富に人材を輩出したのか」に強い興味を持っているひとりだが、この「稽古規則」をみて腑に落ちる思いであった。

単なる戦闘集団には文学稽古や古典の輪講など不要で、むしろ兵としての突撃のじゃまである。これを作成した人—もちろん晋作である—や当時の上質な長州人の間では、隊員は単なる戦闘員ではなく、農民の出であっても教養ある武士のようであればならない、とのほとんど疑う余地のない了解があったのではないか。

越後公や文之進、松陰、晋作や孝允、希典などと連綿と続く文学や思想の香り・学問の香り。それも広がりをもって蓄積されていたところに、長州人の長州人たる所以があるのではないか、と愚考しているのだがどうだろう。

追記：明治維新 150 周年を迎える今年、奇しくも長州を愛して止まなかった山口大学卒の直木賞作家 古川 薫氏が亡くなった。先生の著書からは多くのことを学んだ。とくに「君死に給ふことなかれ 神風特攻龍虎隊」は心に残る。ご冥福をお祈り致します。

参考資料：

1. 「長州奇兵隊—栄光と挫折」 古川 薫
創元社
2. 「長州人 考」
山口県医師会報 平成 27 年 5 月号
3. 「越後公かえる」
山口県医師会報 平成 28 年 1 月号
4. 「福原越後—維新の前夜—」
福原越後公百年祭記念顕彰会
昭和 41 年 11 月 10 日印刷発行
5. 「斜陽に立つ」 古川 薫 毎日新聞社
6. 「一外交官の見た明治維新」
アーネスト・サトウ 岩波文庫
7. 「維新の商人—語り出す白石正一郎日記」
古川 薫 毎日新聞出版



護郷隊

～われわれは何を忘れたのか～

山口大学 しまふくろう

先年、米寿を迎え耳も遠くなった父や腰を痛めてめっきり年老いた母を見舞うために、久しぶりに一人で帰郷した。

那覇でレンタカーを借り、ドライブがてら北部山原^{やんぼる}へ向かった。名護を過ぎ、屋我地島^{たのだけ}へ向かう途中、道路脇に多野岳（標高 385m）と書かれている道案内板が目に入った。

多野岳

この音の響きはとてもぼくを不安にする。小さいときから何度も、隣に住む伯母さんや周りの大人達に聞かされていたからだ。

「おとうは戦時中に栄養失調で倒れ、多野岳から戸板に乗せられ実家に帰ってきた。」

なぜ父が多野岳にいたのか。そして、なぜ栄養失調で倒れ、運ばれてきたのか。子供だったから、その意味するところをあまり深くは考えなかった。大人達も、戦時中、多野岳には日本軍がいたさ、くらいの認識だったような気がする。

ただ、父は戦後、年に 1 回は名護市で行われた慰霊祭に出席していたようだ。自分からは決してその話をしなかった。伯母や母から、「村上（治夫大尉：2006 年 81 歳で死去）隊長」に会っているようだ、としか聞いていない。

戦後 70 年の NHK スペシャルで、「あの日、僕は戦場で～少年兵の告白～」という特別番組をたまたま見た。ぼくはすぐ理解した。父が決して語らない過去を。

父は昭和 2 年生まれである。あの戦争末期の昭和 19 年はまだ 17 歳である。番組によると、当時、沖縄北部に「護郷隊」という遊撃隊（ゲリラ部隊：正式名「第三・第四遊撃隊」）があり、およそ 1,000 名の部隊員の大多数はまだ 18 歳に満たない 10 代の少年達であった、という。アメリカ軍が上陸したあと、少年達は山原のジャングルで寝起きし、泥とシラミにまみれ、飢えと友の死を目の前でみながら、泣くことも逃げ出すことも許されず、時には故郷に火を放ち、ゲリラ兵として戦い続けたようだ。番組で当時の少年兵達が沈黙を破って語る証言は、徐々に少年達の間としての心を奪っていく戦争という狂気を描き出していた。ぼくたちと同じ職にあった軍医に負わされた任務は、とても直視することができない。

この番組と、その後の参考資料などを読むにつれ、父のおかれていた状況が少しずつ分かってきた。どうも父はこの「護郷隊」に招集され、多野岳でゲリラ兵としての訓練中に栄養失調にて倒れ、実家に送還されていたのだ。まだアメリカ軍の上陸前だった。結果的にそのことで命が助かった。そうでなかったら、ぼくはこの世にいなかったはずだ。

アフリカの内戦国やイスラミック・ステート (IS) などが、少年兵を戦士として訓練し、実際に戦闘に従事させているニュースがときに流れる。わが国や良識ある先進国の人々は、その非道さを激しく非難している。しかし、70 年前の沖縄では陸軍中野学校の出身者により、実際に少年ゲリラ隊は編制され凄惨な戦いを強いられていた。この事実は長い間、表にでてこなかった。か

れらがかたく口を閉ざしていたからである。しかし今、深い心の傷を負った元隊員達が少しずつ口を開きだした。もうかれらも 90 歳を超えている。間もなく生存者も全員この世から去って行くだろう。

1944 年 7 月、サイパン島で日本軍は玉砕。8 月には Guam、テニアンも陥落。死守するはずの絶対国防圏は破られ、10 月には米軍はフィリピンへと上陸する。護郷隊はこうした渦中の 9 月 9 日、陸軍参謀総長名で編成が命じられている（大陸命第千百二十六号）。

その 4 日後の 13 日、小禄飛行場（現・那覇空港）に到着した軍用機から、長髪のサングラスをかけた男を含む、普段着の十数人の男達が降り立った。長髪の男が、陸軍士官学校第 55 期・陸軍中野学校*・三乙の村上隊長である。当時 23 歳。

かれらはすぐ首里の沖縄守備軍第 32 軍司令部へ向かった。かれは戦後、この時のことをこう語っている。

「(牛島) 軍司令官閣下は終始温顔に笑みをたたえられ、「君たちはどういう任務できたのかね」と尋ねられたので、即座に「ハッ。敵が上陸して軍が玉砕した場合、われわれが最後までがんばって敵の後方攪乱をするとともに、大本営といつも無線連絡をとって情報提供します」と答えて、傍らの軍参謀長長勇閣下に呵呵大笑されたことを想起します」

「赴任直前に参謀本部で、32 軍の作戦は本土決戦のための時間かせぎで、玉砕を前提としたものだと聞かされていた」

この時点ですでに日本軍中枢の明確な意志が現れている。本土防衛のための捨石としての沖縄である。そして、その

捨石の中で、最後まであがきつづけることを求められたのが、護郷隊の少年兵達であった。

恐ろしいことに、この「護郷隊」は単に沖縄だけの現象ではなかった。当時の大本営陸軍部は本土決戦のために、着々と「一億総特攻」の準備を進めていた。1945 年 4 月 25 日に発行された「国民抗戦必携」はいう：

- 一、 敵若シ本土ニ上陸シ来ツタナラバ、一億総特攻ニ依リ之ヲ撃滅シ、郷土ヲ守リ皇国ヲ絶対ニ護持セネバナラヌ
- 二、 国民義勇隊ハ戦闘訓練ヲ実施シ、築城ヲ造リ、各人各々其ノ郷土ヲ守リ、挺進斬込ニ依テ敵ヲ殺傷シ軍ノ作戦ニ協力セネバナラヌ

結果として、8 月の終戦によりそれは実行に移されることはなかった。そしてぼくたちはその可能性があったことさえ忘れてしまった。

まだ時間もあったので、その案内板に従い、多野岳頂上をめざした。頂上は意外にも平坦で広く、朽ち果てたホテルの残骸があった。その日はよく晴れていて、東シナ海に浮かぶ屋我地島と古宇利島、羽地内海や名護湾も美しく望めた。かつてこ



多野岳頂上からみた東シナ海に浮かぶ屋我地島とその奥の古宇利島。羽地内海や名護湾も望める。実に美しい眺めだ。

こが少年たちの血で染まった戦場であった、とはとても想像できない。

実家で父に“多野岳にドライブしてきた”と話した。耳も遠くなっているのか、父は何も反応しなかった。

＊陸軍中野学校：

インテリジェンス教育を行う日本初の専門機関。1940年8月に誕生し、敗戦とともに消滅。東京中野区にあったため、前身の「防諜研究所」から「後方勤務要員養成所」を経て、「陸軍中野学校」と名称変更した。二千三百余名を数える卒業生は、中国大陸や南方アジアの戦地に送られ、諜報活動、ゲリラ工作などに従事し、命を落とす者も少なくなかった。フィリピンのルバング島から帰還した小野田寛郎氏はその二俣分校の一期生である。二俣では学徒出陣の予備士官学生が入学して、遊撃戦（ゲリラ戦）の集中訓練を、最初は三ヶ月、終わりは二ヶ月の短期教育を受けた。

参考資料：

1. 「僕は少年ゲリラ兵だった
—陸軍中野学校が作った沖縄秘密部隊」
NHK スペシャル取材班 新潮社
2. 「あの日、僕らは戦場で一少年兵の告白」
NHK スペシャル制作班 新日本出版社



イラスト：司馬さやか

3. 「少年兵はなぜ故郷に火を放ったのか
—沖縄護郷隊の戦い」
宮本雅史 KADOKAWA
4. 「陸軍中野学校『秘密工作員』養成機関の実像」
山本武利 筑摩選書
5. 「わが回想のルバング島
—情報将校の遅すぎた帰還」小野田寛郎
朝日新聞社
6. 「日本軍兵士 —アジア・太平洋戦争の現実」
吉田 裕 中公新書
7. 「鉄の暴風 —沖縄戦記」沖縄タイムス社
※軍と行動をともにした新聞記者らがみた、極限の状況におかれた住民・軍人を問わない人間の観察記録。「人間とはなにか」を考えさせる貴重な書。ぜひ読んでいただきたい！

マイ終活

徳山 森松 光紀

77歳を過ぎた頃から「終活」をわが問題として感じるようになりました。「終活指導書」を紐解くと、「終活という言葉は、平成21年に週刊朝日が発表した言葉であり、当初は『人生の終わりに向けての事前準備』を意味したが、現在は『人生の終わりに向けての事前準備をしながら、これまでの人生を見つめなおし、残りの人生を自分らしく生き、自分らしいエンディングを迎えるための活動』を意味する」と書かれています。「残りの人生を自分らしく生きる」とは何かを考えざるを得ません。

毎日、診療に明け暮れて、明日を考える余裕もありませんでしたが、昨年、大学医学部の同級会（写真）に参加したとき、同級生のK君の言葉に感銘しました。彼は、有名な群馬県K牧場の一族で、同級生の中でもリーダーシップに優れた医師でした。大学に入ったとき、既に英語の通訳ができるほどの教育を受けていました。卒業後は消化器専門医のほかに、医学教育のリーダーとして全国的に活躍し、昨年もまだ複数の国際学会の理事として働いていました。彼は「80歳に近づいた今、国内・国際学会の仕事からすべて手を引くことにした。自分はピアノ、尺八、盆栽では指導

者の資格を得ているが、今後はフルートにも習熟する。これとは別に、明治時代に島崎藤村がわが別荘で『夜明け前』を執筆した歴史があり、その資料が残されているので、記録として後世に残したい」と語りました。われわれ凡庸な同級生は、自分たちも本格的な終活を始める時期にあることを思い知らされた次第です。

いつから終活するかは個人次第ですが、徳山医師会や宇部市医師会では77～80歳で廃院される先生が現れることに気づきました。診療所の仕事は、勤務医には想像できない経営上のストレスを背負っておられますから、体力・気力の面から廃院を決意されるものと思います。その後はどのような道を歩まれるか観察させていただいております。

私自身の終活については、まず身辺整理から着手すべきと考えました。要らなくなった物品を処分することです。大学定年退官時に、教授室のおびたしい雑誌と単行書をどのように処理するか判断に迫られました。退官する教授の中には、書棚の書籍をすべて廃棄して、身軽になって去って行かれた、潔い先生もいます。自分にはその真

似はできず、引退後の医学的活動にこれらの書籍は有用だろうと考えました。このため、当時新築した家屋に4.5畳の書庫を設けました。書庫は重さに耐えるための設計を施し、さらに文具メーカーと相談して、図書館にあるような滑走式書棚を設置しました。そのおかげでたくさんの蔵書を収納でき、小さな図書館ができた満足しました。ところが、現実



は厳しいもので、現役を離れると原稿依頼は急速に減少し、5～6年も経つとほぼなくなりました。となると、購入時には最新知識を掲載した書籍も新鮮さを失って、無用の存在になります。バックナンバーのそろった医学雑誌は、文献検索に役立ちましたが、最近では書庫に立ち入るのは1年に数回になりました。

書庫の整理は、まず、読まなくなった一般書籍から始めました。市の廃棄所に持って行き焼却すればよいのですが、知人から、古本を買い取るチェーン店に運ぶと多少の額になるし、本も生きることになると教えられました。試みに、ベストセラーだったハードカバーの小説本を40冊ほど選んで持参しました。店員はそれらをチェックしたのち、「10冊を除いては値段が付けられない」（即ち、無価値です）と宣告して、「残りを持ち帰りますか、あるいはこちらで始末しますか」と聞きましたので、始末を依頼しました。価格の付いた10冊の売値は合計100円であり、これが現実だと思い知らされました。次の問題はおびただしい医学洋書ですが、インターネットで検索すると「医学洋書を引き取ります」というサイトが幾つも出てきます。そこへネットで申し込んで、段ボール箱に入れて送ればよいと分かりましたが、こちらはまだ未練があり、実行できないでいます。

続く不要品は、使わなくなったパソコンです。信じがたいことですが、最初、教授室に私費で設置した、アップルのデスクトップ・パソコンはプリンターつきで150万円もしました。アップルを数年おきに買い替えていくうちに、大学はウィンドウズの時代になり、自宅にもウィンドウズのノート型パソコンが蓄積しました。マイクロソフト社のOSがウィンドウズ95から98、XP、Vista、現在の10に移り変わるにつれて、使わなくなったノート型パソコンが積み重なっていききました。プリンターもやはり買い替えが必要でした。これらも廃棄することにして、車に積んで、行きつけの電気器具販売店で引き取ってもらいました。幸い、政府の方針で（2020年オリンピックの金メダル作成のために）、パソコンは無料で引き取ってくれましたが、プリンターは有料でした。思えばわがパソコン歴は、1980年代にシャー

プが発売したワープロ「書院」を大枚をはたいて購入して以後、費やした金額は高級車1台分に相当するかと思われます。

最後に、「残りの人生を自分らしく生き、自分らしいエンディングを迎える」という大問題があります。これについては、今のところ計画がありません。現在、病院で多数の神経内科患者さんを拝見しており、ただちに後継者が得られる状態ではないので、働けるうちは診療を継続することを考えています。というか、それ以外の道を思いつかないのです。私が尊敬する故 青木秀夫先生（山口大学名誉教授）は、退官後、徳山医師会病院に勤務され、脳外科医として活躍されました。80歳を過ぎてもかくしゃくとして診療活動を続けられ、知識や診断能力で変わることはありませんでした。しかし、発病されたのち半年の闘病後に85歳で他界されました。私にとっては、これが理想の姿と思われます。青木先生に従えば、特に何かを始める必要がありません。新規の趣味を始めることについては、例えば短歌制作にはかねて興味があり、一時、新聞に投稿しましたが採用されることはなく、才能はないと知りました。

心配なのは、体力とともに知的能力が衰えることです。私がかねて「医師は自分が専門とする病気になる、あるいは、それによって死亡する」と考えてきました。その根拠は「がんセンターの総長は概ねがんで死亡する」という事実があります。認知症の大家の長谷川和夫先生は、有名な「長谷川式簡易知能診査スケール（HDS-R）」を考案された先生で、私も何度か会議で警咳に接しました。その長谷川先生が先日のテレビで「自分は現在、認知症になったが、これからは認知症を持ちながらも意義のある生活を送りたい」と述べられました。ということは、私も認知症かパーキンソン病になりつつあるかもしれません。この場合には、終末的に山野の草木を愛で、庭の花や野菜を楽しむような、優雅な生活を送りたい、と考えています。しかし、今のところ、それ以上のアイデアはなく、代り映えのない生活を過ごしています。

あか（ン）ね（、）さす（ガニ）

下関市 塩見 祐一

久しぶりに博多座・宝塚歌劇花組公演「あかねさす」を観に行った。前から二番目の席だったので、オペラグラスをかけなくても演者の汗・涙 & ツバが見えてくる。それにしても、いくらプロとはいえ歌って踊る彼女らの若い迫力には毎度のことながら感心する。加えて 10 年前の月組で主演を務めていた霧矢大夢を完全に食っていた明日海りお、その彼女が花組のトップスターになっていて、「やっぱりナ」と自分の目利きに自信を持った。ちょうど、その昔、日医総研の講演で「若いのにタダのネズミじゃない」と直感した川渕孝一先生のように。彼もあれからアレヨアレヨと言う間に東京医科歯科大教授になり、ビジネス系医療経済学者の第一人者になっている。ちなみに、数学・英語系は井伊雅子、医療系は二木 立、厚生官僚系は広井良典（いずれも敬称略）かいな（少々、皮肉もあります）。

物語は額田王（配役、仙名彩世）をめぐる中大兄皇子（→天智天皇、鳳月 杏）と大海人皇子（→天武天皇、明日海りお）の三角関係を描く。

皇太子である中大兄皇子に見初められた姉・鏡女王に比べ、まだまだ子供と相手にしてくれず落ち込む額田王。そんな彼女に出会いなぐさめるうちに大海人皇子は恋に落ち、二人の間に十市皇女も生まれる。時は過ぎ、大化の改新（645 年）を経て時の権力者になった中大兄皇子は少女から成人女子に脱皮した額田王を見て、弟の妻なのに懸想し我がものとしてしまう。

その歌が「三山の歌」として名高い①「香具山は 畝傍を愛しと 耳成と あい争ひき 神代より かくなるらし いにしえも しかなれこそ 現身も 妻を争ふらしき」～中大兄皇子作～で

ある。

翌年には白村江の敗戦があった一方、4 年後に先の十市皇女が中大兄皇子の息子・大友皇子に嫁ぐというおめでたもあった。そして、668 年に中大兄皇子が待ちに待ちたる天皇に即位し、昼は蒲生野での葉狩り、夜は湖畔での祝宴が催された。前者で起きたことを歌ったのが本公演の題名「あかねさす紫の花」。それは②「あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る」～額田王作～であり、その返歌が③「紫の にほへる妹を 憎くあらば 人妻ゆゑに 我恋ひめやも」～大海人皇子作～である。

下線（注）ここに紫の枕詞「あかねさす」の茜草の根は赤色染料となり、紫草の花は地味な白色で根からは紫色の染料が採れる故、本公演の題名「あかねさす紫の花」は乙女チックな脚色があるとみた。

いよいよのクライマックスが後者で大海人皇子が槍を持って踊るお祝いの舞である。踊っていくうちに段々と熱を帯び、実の兄に対し愛して止まない妻を寝取られた恨みをハラさんばかりの気迫がみなぎり、まさに槍の矛先はあらぬ方向へ向くのであった。

ここで、あまのじゃくの僕としては上記の美しくも哀しい悲恋ドラマに茶々を入れたい。

（その一）中大兄皇子は額田王を恋愛の対象としてではなく、宮廷歌人 or 彼のスポークスマンとして必要な人材だったからこそ大海人皇子から奪い取った。近くには邪魔だから、内憂（蝦夷等地方豪族）外患（唐・新羅連合）に乗じて弟を戦地へと送り出したはず。義経への仕打ちに見

る源頼朝より策士だからそれくらいはやりかねない。その間に言い寄ったのであろう。額田王にとっても今や一番大事なのはわが子なのだから致し方なかったノダァ！（宝塚口調になっている）。

（その二）額田王は後に続く柿本人麻呂と同様に宮廷歌人であった。それゆえ、①～③はミンナ彼女の歌ではないか。すなわち、①は自分が中大兄皇子の女になることにより夫の命が保障され、②で誰もが知っているスキャンダルをわざわざ宴の肴として盛り上げ、そして③で見事に落とす。アラフォー（時代は古であるからセクハラにあらず）近い自分を紫草のアリエナイ清楚さに譬えオドケテみせて大海人皇子の顔をたてる、知情意兼備な詩人である。こう考えると、天武天皇を除く（恐妻・天智天皇の御令嬢たる持統天皇の目があった？）御世の万葉集選歌で彼女がゴーストライターとみられる歌は多い。

（その三）本当に大海人皇子は額田王絡みで兄の天智天皇に槍を向けたのだろうか？そうではない。天皇即位の年にはたとえ身分の低い采女との男子であっても成人した自分の血をひく大友皇子

がいた。気分高揚した宴の最中に弟をさしおいて「後継者はこの子にしたい」とでも言ったに違いない。だからこそ、大海人皇子は怒り心頭に発してアンナ振る舞いをしたのである。こう考えると、壬申の乱の前触れエピソードとして生きてくる。たとえば大海人皇子がお人好しで、秀吉が己の最期に至り、家康に「秀頼を宜しく」と頼んだ如く天智天皇の臨終に際し同様な懇願がなされたとしても、どうせダメだったろうが。

サテサテここまで書いたところで読み返してみても悔やんだのです。「ああ、やっぱり高校 2 年次に旧課程『人文地理』ではなく『日本史』を取っておればモウ少しこの時代のキーワード『血族・豪族・渡来人』が理解できたろうに」と。そして、こんなトンデモ・ミーハー日本史知識では緑陰随筆的学識に対し「アカンネ、サスガニ」と思ったのでした。



端（はし・さきっぽ） その 13

徳山 若林 信生

今回はなかなか行く機会の少ない長崎県の福江や四国の最北端、そして県内のマイナーなはしつこを紹介しましょう。

“九州本土で最後に夕日が見られるところ”と宣伝しているのが、五島列島のなかの一番大きい島 福江島にある五島市のおおせざき大瀬崎である。福江島の南西端の東シナ海に突き出た崖の上には“日本の灯台 50 選”にも選ばれた大瀬崎灯台がある。

東シナ海の荒波にもまれた断崖絶壁が続く突端で、古くから中国と日本を結ぶ航路の目印となった場所で、福江島には東シナ海を渡った遣唐使や空海のモニュメントもある。この灯台付近の風景は抜群に良い。また、五島列島には潜伏キリシタン（≡隠れキリシタン）の歴史的な天主堂が数多くあり、このたび世界文化遺産として「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が登録された。

大瀬崎灯台は東シナ海の船の行き来が激しくなった明治 12 年に崖の上に建築されたもので、白く、円形のコンクリート製で、高さは約 16 m であり、青い海に良く映える。東シナ海から日本への航路の目標のために、光度も強く光の到達距離も長いとの事である。

この大瀬崎に行くには長崎港から福江港までジェットホイルを利用して、福江港からはレンタカーを使うのが良い。福岡空港から福江空港までの飛行機を利用するのもまた良いであ

ろう。フェリーではちょっと時間がかかりすぎる。ジェットホイルは約 80km/h で巡航するのでとても速く、長崎港～福江港まで約一時間半で到着する。

福江港から国道 384～県道 27～国道 384～県道 50 と辿り、玉之浦町玉之浦で灯台方面に鋭角に左へ曲がり、クネクネの細い道を行けば行き止まりに駐車場がある。ここからは足元が整備された木のトンネルを約 15 分下れば突然視界が開け、約 5 分で砲台状の上に建つ白亜の灯台に辿り着く。帰りは坂道をズーッと登り続けなければいけないので、かなりしんどい。歩くのがしんどい人には最後の駐車場の手前に大瀬崎展望所があり、ここからの景色のほうが良いかもしれない。

四国には有名なさきっぽ（端）が数ヶ所ある。最南端の足摺岬、最西端の佐田岬、また、室戸岬などが有名であるが、何故か最北端の影が一番薄



東シナ海をのぞむ断崖の上に建つ大瀬崎灯台

い。瀬戸内海に面してあまり岬らしくないためかもしれない。香川県高松市の庵治半島の先端にある竹居岬がそうである。

高松市の東側に源平合戦で有名な屋島があるが、そのすぐ東側に並んでいる半島が庵治半島で、その先端が竹居岬である

実際は少し西側の岬が最北端であるが、私有地のために一般人は入れないので、看板は少し南側に作ってあるらしい。竹居観音寺の本堂の前を進めば祠があり、ここが行き止まりである。

綺麗な砂浜や岩の海岸で瀬戸内海によく見られる島の多い普通の美しい風景である。

ここに行くには高松市内から国道 11 号線を東へ向かい、屋島への入り口を過ぎ、県道 36 号線に左折して北へむかえば辿り着けるが、竹居観音寺の看板を目印に、狭い急な坂を下って行かなければならない。分かり難いので注意が必要である。

香川県は“うどん県”というくらい、至る所にうどん屋がある。そして、小さいうどん屋は農家の納屋のようなところでやっているところや看板すら無い店もある。しかし、概して美味しく、しかも安い。美味しいうどんを食べようと思ったら昼間に行かないと夜は閉まっていることが多いので注意が必要である。

船に乗らないで車やバイクで行く事ができる山口県の最東端は周防大島町の伊保田の雨振であろう。周防大島は西を向いた“金魚”にたとえられるが、金魚の尻尾の先が伊保田の瀬戸ヶ鼻である。東側の情島との間に“情けの瀬戸”を形成している。柳井港と松山の三津浜港とのフェリーが通る航路では最も狭い海峡で、景色は抜群に良い。

国道 188 号線から大島大橋を渡り、対岸に着いてすぐ左折すると、これが国道 437 号線である。周防大島の北側をトレースする国道で、途中に“道の駅 サザンセトとうわ”、“星野哲郎記念館”、“陸奥記念館”があり、陸奥記念館を過ぎる



四国最北端 竹居岬

と直ぐ伊保田のフェリー乗り場である。

このフェリー乗り場までが国道 437 号線で、その先は県道 351 号線である。道路が広いのもここまでで、県道に入るとすぐ狭くなり、車一台が通るのがやっとで、すれ違いは出来ない。残念ながら道は途中までで先端の瀬戸ヶ鼻までは行くことが出来ない。先端には情島との間の送電線の鉄塔があるのみでそのほかに何も無いのでフェリーに乗って情けの瀬戸を通過するとき眺めるか、または陸奥記念館の周辺から見るのが良い。

周防大島（屋代島）は冬場でもバイクで走れることが多く、景色の良い、また、路面の良い海岸線をゆっくりトレースすれば、ついヘルメットのなかで鼻歌を歌っている自分がある。

昼食も地元で取れた海産物が美味しい店があちこちにある。また、龍崎温泉や片添ヶ浜の温泉も少ししょっぱいが二重丸である。

車海老で有名な山口市の秋穂東の周防灘に突き出た最南端が草山崎である。高台には草山公園があり、春は桜が咲く“さくら広場”となっている。ここにはちょっとした休憩所やトイレもあり、坂をズーッと登ってきた者にとっては有難く、景色を見ながら一服できる。

さらに階段や坂を登ると“くさやまきとうだい草山崎灯台広場”があり灯台が目前にある。灯台の周辺には休憩出来るようにベンチがあるが日陰はない。

周防大橋や阿知須のきららドーム、遠くは国

東半島や姫島も見渡せ景色は抜群である。草山崎灯台は白く、円筒形の、タイル張りで高さ約 12 m である。灯台上部にはあまり多くは見られないが一見“出窓”の様なものがある。

ここに行くには防府方面からは大道駅の方から県道 25 号線を西方向に辿るか、四辻駅近くから県道 194 号線を南下するか、また、西方面、阿知須方面からは県道 25 号線を東へ向かい、周防大橋を渡り、東から南へと辿る。県道 25 号線の一番南側と思われる周辺に草山公園の標識が立っている。ここを少し行くと駐車場がある。ここから約 15 分～20 分も坂道を登れば灯台まで行ける。

海眺の宿 あいお荘（以前の国民宿舎 あいお荘）から近いのでこれを目標にすれば分かりやすい。あいお荘からも灯台が見える。

この周辺には名物の車海老を食べられるところが数ヶ所あるが、私はあいお荘の見晴らしの良い温泉に入り（特に露天風呂が良い）、車海老を食べるのが好きである。温泉は少ししょっぱいが良い温泉である。

萩の小さい火山の噴火口跡を有する笠山の突端が虎ヶ崎である。笠山は約一万年前の噴火で陸続きになった日本海に突き出た火山跡であり、高さ約 112m で火口の直径は約 30 m、深さ約 30 m、火口の周囲には遊歩道があり、一周しても 2～3 分あれば充分である。火口の所まで降りていける。頂上には展望所があり、日本海に浮かぶ島々や萩市の菊ヶ浜や城山も見渡せ、景色はすこぶる良い。さすがに「北長門海岸国定公園」だけのことはある。

笠山に行くには国道 191 号線を萩から益田市方面へ向かえば笠山の案内標識があるのですぐわかる。また、笠山に上がる前に汽水湖の明神池があるので、これも見落とさないように。



草山崎灯台

笠山の北側の先端部分は“笠山椿群生林”があり、シーズンには椿祭りも行われる。

椿群生林の中には整備された遊歩道や休憩所があり、ぶらぶら散策するには絶好のシチュエーションである。この椿群生林の突端が虎ヶ崎である。笠山頂上に行く道を途中で左側に坂道を下り、あとは細い道を道なりに行けば椿群生林の駐車場に辿り着く。さらに先へ進むと突き当りに越ヶ浜漁協婦人部が経営する「つばきの館」という海鮮料理の食事処がある。この食堂の横を通って先へ行けば 1～2 分で松の木の間から白い灯台が見えてくる。これが虎ヶ崎灯台である。灯台は海岸線に建ち、白く、円塔形、高さ約 10m、コンクリート製、タイル張りで、外側に梯子がある。初点灯は昭和 34 年である。ここからの景色も抜群に良い。山口県にも良い端（さきっぽ）は沢山ある。

46 年目のエチオピア

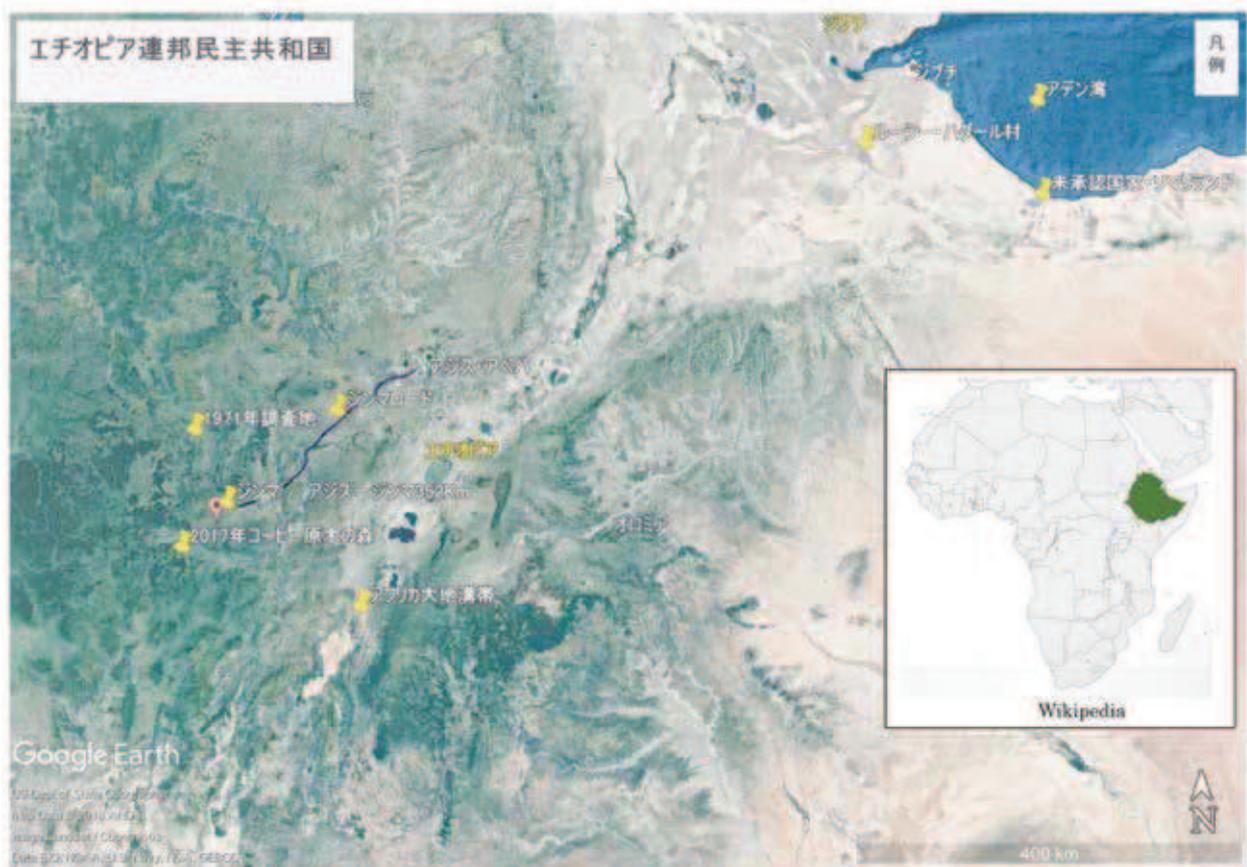
下松 岩本 功

夜の成田を飛び立ったエチオピア航空便には深夜の香港で大勢の中国人が乗り込み、眠気を覚ますような中国語がしばらく機内に響きました。翌朝、眼下の真っ青なアデン湾に続く未承認国家ソマリランド（ソマリア）や人類の祖先「ルーシー」のふるさとを過ぎると、エチオピア内陸部が果てしなく広がってきます。やがてアジスアベバ（アジス）へ降下するというアナウンスに「アフリカの水を飲んだものは、またアフリカに帰ってくる」

という諺どおりの自分がありました。

はじめてのアフリカは、1971年から1年間でOTCA（海外技術協力事業団、JICAの前身）の医療協力専門家（4名）チームの一員としてエチオピア帝国へ派遣され、首都アジス（標高2,400m）で生後10か月の娘を連れて家族3名で過ごしました。

5歳で満州からの引揚者となった私は生まれ故郷を失い、「未知」とか「暗黒」と言われていた



Google Earth に筆者が添付、加筆した関連地図



アジスアベバ

アフリカ大陸に惹かれました。学校での放課後は図書室でアフリカ探検記に心を躍らせながら読む楽しい時間でした。大学を卒業すると迷うことなく、いち早く世界に門戸を開いた出島がある長崎の熱帯医学研究所の大学院へ進みました。アフリカで蔓延する感染症（風土病）を学びながらアフリカに行けるチャンスに期待し、その願いは3年目のエチオピア派遣で実現しました。日本の約3倍の広さの国土がある当時のエチオピアは親日家ハイレ・セラシエ皇帝の帝政時代で、日本との医療技術協力関係が盛んでした。我々4名の任務はエチオピア帝国中央衛生研究所に勤務してエチオピアで見られる病気の診断・治療や現地調査のノウハウなどをエチオピア人医師や関係者へ指導することでした。その頃のエチオピアには皮膚疾患、マラリア、寄生虫疾患や赤痢などが多く、アフリカ全体では赤道直下から北緯15度付近に至る範囲の川で生息するブユによって伝播されるオンコセルカ症（河川盲目症）による失明が深刻な問題となっており、それに対応できる医師は外国人か海外留学から帰国したエチオピア人のみで、医師数は対人口10万人で0.8人（日本は111人）でした。我々のチームにはブユの専門家も派遣されていたので、アジスから悪路や坂道で約600Kmにある南西部の高原の村々（標

高1,700～1,800m）で実態調査をしました。そこに流れる川に生息するブユと刺された村民には高率にオンコセルカ仔虫が感染しており、失明や皮膚腫瘍などに加えて高度な象皮病なども見られたことを報告しました。この調査地はアフリカ大地溝帯の西側にあるコーヒーの木が自生するkaffa（カッフア）地区といい、このKaffaの名がCofeeの語源となったとされる場所でした。赤いコーヒーの実を食べたヤギが暗くなっても興奮しているのに気付いたヤギ飼の少年 カルディは修道院の僧

侶たちと実を食べてみると眠気が取れ、元気になったという「コーヒー伝説」がこの地にはあり、これに由来したカルディ・コーヒーの名は日本でも有名になっています。

D旅行社の「エチオピア・コーヒー / 原木の森を訪ねる8日間」というツアーは、エチオピアで過ごした日々を再現してくれるような魅力があり、昨年11月のツアーに参加して46年目のエチオピア再訪が実現しました。46年目の首都アジスの様子はアフリカに深く浸透する中国の「エチオピア開発」により大きく変貌しており、市内には電車が走り、高層ビルが立ち並び、チャイナマーケットもあり、市内は車の渋滞で移動に時間がかかり、出発前に思い描いていた様子とはすっかり違いました。調査活動のために悪戦苦闘した南西部へ続くジンマロードは広く舗装され、沿道の円形ハウスは小綺麗となり、町々の生活も便利となって、経済成長率8～10%を維持するエチオピアの姿でした。道中で小休止していると何処からともなく現れてくる牛追いの人たちの笑顔には46年前と同じように心が和み、「ティナステリン」（こんにちは）の連発で答えました。

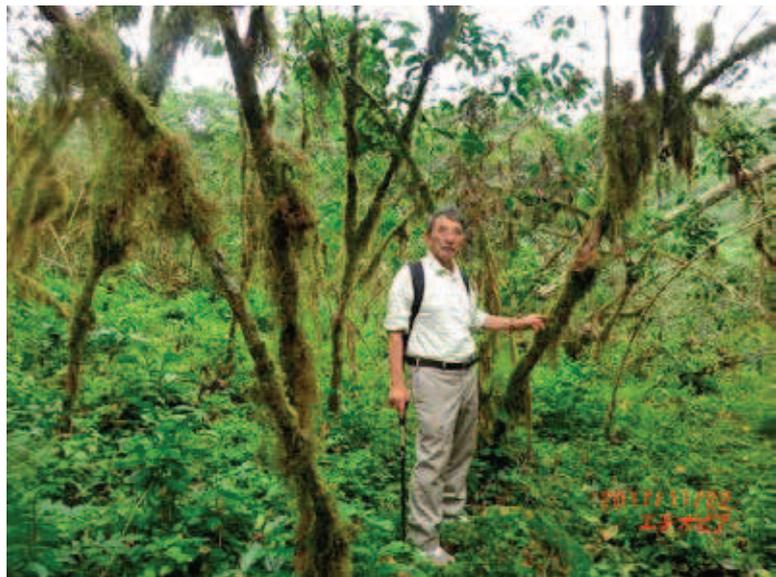
気になるオンコセルカ症は、大村 智 博士が1973年に発見された「放線菌」から実用化されたイベルメクチンによる治療で失明者や象皮病が

激減し、大村博士の 2015 年のノーベル賞受賞は自分のことのように喜びました。1 年間を過ごしたアジスのアパートは皇帝が執務するためのジュビリー宮殿と緑地帯を挟んだ向かい側にあり、娯楽のないアジスの休日には幼子連れて宮殿正面で気さくな衛兵さんと一緒に写真を撮ったりしていました。帰国が近づいたある日、我々は研究所に小柄な親日家のハイレ・セラシエ皇帝の来訪を受けました。あの時のねぎらいの言葉や握手した手のぬくもりは今でも忘れられません。それから 3 年後に北部ウォロでの悲惨な飢饉を契機とした革命で皇帝は幽閉され、83 歳で病死されました。しかし、次の社会主義政権でも飢餓問題を解決することは出来ませんでした。今回、ハイレ・セラシエ皇帝の写真が掲示されているのを見ると、エチオピアは皇帝抜きでは語れない国だと思いました。隣国との国境問題を抱えるエチオピアの人々が健康に暮らせる日が来るにはまだ時間がかかりそうですが、今年 4 月に選出された新首相が隣国との緊張緩和や国营航空会社に外資の出資を認めるなどの政策転換には期待が持て、世界中からコーヒーセレモニーを楽しみに人が集まりそうです。

これまでアフリカ 8 か国で「アフリカの水」を飲みました。6 月の県医師会からの長寿会員表彰に感謝しつつ、またアフリカへ帰れる日を楽しみにしております。



ジンマロード



コーヒーの原木

参考資料：

1. 「エチオピア医療協力実施団調査報告」
海外技術協力事業団
2. 「エチオピア・コーヒー伝説」
アフリカ理解プロジェクト
3. 「皇帝ハイレ・セラシエ」
リシャルト・カブシチンスキー 山田一廣 訳
4. 「飢餓高原—エチオピア飢えの構造」山田一廣

人材育成

徳山 中村 和行

米国の景気回復や中国の経済成長に支えられ、また、異次元の金融緩和により日本の景気の行き先にも明るい兆しが見えていました。円安と原油価格の低迷で、自動車産業をはじめとした日本のグローバル企業の収益も軒並み高くなり、過去最大のベースアップなどと報じられていました。

今年の桜の開花は平年より早く、花見を楽しんだ方も多いと思いますが、この時期には「花冷え」と呼ばれる一時的な冷え込みがあります。花ならぬ鼻風邪には気を付けて下さい。「米国がくしゃみをするると日本が風邪をひく」と以前から言われていましたが、それほどに日米の政治経済の関係は強いものです。

さて、桜が満開になると、全国で入学式や入社式が行われますが、今年は開花が少し早かったようです。北日本を除いて5月には桜色の花が散り、新緑の葉桜になります。このころに五月病ごがつびょうにかかる人が多いのです。4月には、入学や就職、異動、一人暮らしなどで新しい環境への期待感があって気が逸ります。しかし、その環境にうまく適応できない人では黄金週間明けごろから、うつ病に似た症状があらわれます。症状が重い場合には、「適応障害」や「うつ病」と診断されます。同様に月曜日から学校や勤務が始まる人の中には、日曜日の夕方にテレビ番組『サザエさん』を見た後に、休日の終わりや仕事の始まりを実感して憂鬱になる場合もあり、「サザエさん症候群」と呼ばれています。世界的には休日明けの物憂い月曜日として Blue Monday 症候群と呼ばれるものです。因みに、筆者がアメリカに留学していた折に、友人から「デトロイトで月曜日につくられ

た車は買うな」と言われていました。

今、日本の企業はグローバルに人材を求めています。人材確保に投資を始めています。企業にとって、採用した人が「最高に」成長してくれることに次世代への生き残りをかけます。日本を代表する多くのグローバル企業が人材確保や育成を世界で展開しています。世界の企業も、日本で人材育成を展開しています。その良い例が、スウェーデン発祥の家具小売り世界最大手のI社です。I社の日本進出の歴史は古く、1974年に大阪で三井物産や東急百貨店と合弁会社「I社日本株式会社」を設立したのですが、1986年には日本から一旦撤退しました。その後、2001年に日本へ再進出を決めて2002年には日本法人「I社ジャパン」を設立しました。2006年に千葉県船橋市に1号店をオープンし、その後は着実に店舗を新設し、2020年までに14店舗体制とする計画だそうです。因みに、I社ジャパンの売上高は2017年8月期で740億円余り、純利益は10億円弱だそうです。それを支えるのは、低価格、デザインの良さ、アフターサービスの良さなどですが、特徴は非上場を維持している点です。創業者の故 カンプラードは「非上場企業でいることがI社の驚異的な成功の主因になっている」として、今後も非上場を維持するそうです。

I社ジャパンは、人材育成の一環として2014年から全従業員を正社員化しました。また、I社には、一直線ではなく「ジャングルジム型」と呼ばれるキャリアプランがあり、独特の「人を伸ばす」取り組みがあります。一方で、「郷に入っては郷に従え」という考えがあり、日本の企業と同

様に正社員とパートは分けていたそうです。しかし、順調に日本での事業展開が進む中で、「人に成長の機会を届けていきたい」という本来の思いが、現状の人事システムと合わないと感じたそうです。同じ仕事をしているのであれば、同じ給料を払うべきであるし、労働時間数の違いでその人の能力が変わるわけでもないとの思いによって正社員化制度を導入したのです。その骨子は、「同一労働同一賃金」で、有期雇用だったものを無期雇用にしたそうです。会社が社員に対してかける期待値は全員に等しいというメッセージです。今回の制度変更で、各個人が自分のライフスタイルやライフステージに合わせて、働く時間を調整することができるようになったのです。社員の一人ひとりが平等に自分のワーク・ライフ・バランスをしっかりと持ちながら生きることが、I社の理念である「より快適な毎日をより多くの方に」へ繋がるのです。いつでも、どこでも「成長できるよ」という思いが制度に現れているのです。I社ジャパンの人事担当者は、「全従業員の正社員化は、会社にとって投資だと考えています」と言っています。さらに、「社員が生き活きとしている」ことはお客様にとっても店が居心地の良いものとなり、お客様が増えれば最終的に会社へ帰ってくるリソースが増えるという循環が大事だと言っています。I社の広大な店舗には、家具の展示だけでなく、多くの新しい楽しい企画があります。スウェーデンの伝統的なミートボールなどが味わえるレストランや託児するキッズコーナーでは子供たちが楽しそうに遊んでいます。担当者は、「気に入った家具をゆっくりと買うことのできるディズニールンド」を目指しているそうです。

経済は生き物と言われます。経済を支える人々が買い物をする動機は、基本的には衣食住に心地よい環境をつくるためではないかと思います。もし、医療を経済と考えるならば、医療機関を利用する人々に心地よい環境をつくるのが医療機関の最も大事な仕事であると思います。利用者にとって心地よい環境とは、利用者が「自分は大事にされている」と感じることはないでしょうか。医療機関に従事する者のすべてが、「すべては利用者の心地よさのために」技術と心を尽くすことが重要に思います。そのためには、従事者が医療機関で働くことを心地よいと感じることも大切です。医療に携わるすべての職種の人々が正しく評価されて感謝（Appreciation）され、信頼（Trust）され、情熱（Passion）をもって働くこと、そして、今のところ「幸せ」と感じる事が大事のように思います。TED Talks でハーバード大学の心理学者ショーン・エイカーが、「幸福と成功の意外な関係」と題して自らの脳をポジティブにするには、「毎日ありがたいと思うことを新たに3つ書き出すこと、その日のポジティブな体験を日記に書くこと、運動すること、瞑想すること、意識して親切な行動をすること」を21日間繰り返すことが良いと言っていました。成功が人を幸せにするのではなく、幸せとを感じる事が成功につながる言っています。

詳細については TED-YouTube

http://www.ted.com/talks/shawn_achor_the_happy_secret_to_better_work?language=ja をご覧ください。

